

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース/ローディーコース レコーディングコース/P A &レコーディングコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 21～24回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 25～28回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 29～32回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 33～36回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る（心理テスト） ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 37～40回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう！
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・ イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・ 情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・ Excelの基本操作 ・ タイムテーブル ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・ Wordの基本操作 ・ 文字の入力 ・ 応用課題
【後期】 21～24回目	Adobe Illustrator ・ 簡単な名刺の作成方法
【後期】 25～28回目	Adobe Illustrator ・ 地図の作成方法
【後期】 29～32回目	Adobe Illustrator ・ フライヤー制作の方法
【後期】 33～36回目	Adobe Illustrator ・ 簡易的な図面の作成方法
【後期】 37～40回目	Adobe Illustrator ・ デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	楽器概論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：7年 著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン				
授業概要					
現場でのセッティングから技術的、理論的なことまで基礎知識およびローディー以外の現場セクションのことを学ぶ。					
到達目標					
ローディーという現場で行われている事項の理解、円滑に仕事を進められる知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ドラムの歴史（各太鼓の名称、サイズ） ドラムの取り扱い方、ケースの出し入れ方法 シンバル、シンバルスタンドについて
【前期】 11～20回目	ドラムの表記（省略表記。各ハードウェアの名称） キーボードの歴史音楽録音と音楽制作の歴史 MIDIの基礎
【前期】 21～30回目	ギターの基礎 ベースの基礎 ギターアンプの基礎
【前期】 31～40回目	ベースアンプの基礎 エフェクターの基礎 シールドの基礎
【後期】 41～48回目	コネクターの基礎 楽器の仕事について ローディーの一日の流れ
【後期】 49～56回目	音楽業界、他セクションの仕事内容について ツアー中の他セクションとローディーの関わり バンドセッティング図面を読む
【後期】 57～64回目	PA特別授業 照明特別授業 舞台特別授業
【後期】 65～72回目	ピアノ特別授業 管楽器特別授業
【後期】 73～84回目	レコーディング特別授業 秋葉原電気街見学
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン				
授業概要					
舞台に関する基本的な知識、企画ライブ等のシミュレーション、ハンダの基本的な使い方、シールド製作等、舞台全体の基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
楽器に関すること以外の現場で必要な知識の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	舞台用語の基礎 舞台に関する事 ステージ電源について
【前期】 11～20回目	外部研修対策について 機材車（ハイエース）の積み込み方法 ステージ図面の読み解き方、転換の考え方と実践、バミリの仕方
【前期】 21～30回目	バンド台の組み方 イベント対策について 企画ライブシミュレーションについて
【前期】 31～40回目	転換実習 野外対策方法について
【後期】 41～48回目	電源の基本 スライダックのセッティング 電源の引き回し、セッティング
【後期】 49～56回目	ハンダ座学 ハンダ基本練習 シールド作成
【後期】 57～64回目	電源タップ作成 マイクケーブルの作成
【後期】 65～72回目	TRSプラグの作成 パッチケーブル作成
【後期】 73～82回目	スピーカーケーブル作成 ワニ⇄ワニケーブルの作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ローディー実習 I - A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	80回（160単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：26年 著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン				
授業概要					
各楽器の取扱い方、結線システムの構築を実際に行う。					
到達目標					
ローディーの基本技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ギターの基礎 ベースの基礎 チューニングの基本
【前期】 11～20回目	弦交換の基本 ベグの種類による違い ギターの音が出る仕組み ギターの構造
【前期】 21～30回目	重量物の取り扱い方実践 アンプの歴史 エフェクターの基本
【前期】 31～40回目	アンプセッティング～エフェクターセッティング ハードケースの扱い方 インピーダンス
【後期】 41～48回目	エフェクターの省略記号 センドリターンについて ラックケース
【後期】 49～56回目	エフェクターの電源 楽器メーカー名読み書き エフェクターボード作成
【後期】 57～64回目	機材極性の測定方法とマーキングのルール ベースアンプBi-Amp実践 スピーカーインチ数の考え方
【後期】 65～72回目	ケーブル特性 アンプの転換～セッティング ベース用エフェクターの考察
【後期】 73～80回目	Delayタイムとリズムの関係 ギターベース持ち替え実践 トラブルシューティング
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ローディー実習 I -B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：21年 楽器構造の原理に着目し新商品の開発にも従事するオールラウンドローディー 温故知新・日進月歩で機材に取り組んでいる。アーティストからの問合せが絶えない。				
授業概要					
キーボード全般の基本的な知識および各種の周辺機器の使い方を学ぶ。					
到達目標					
キーボードの音出しをミキサーの知識とともに習得。 音楽業界における楽器セクションの役割の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	キーボードとケースの取扱い スタンドの取扱い
【前期】 11～20回目	各楽器の音を出しチェック キーボード用各種ペダル
【前期】 21～30回目	キーボードの転換の基本 キーボード出力をPAシステム送る基本的な配線
【前期】 31～40回目	キーボードセット仕込み ケースの開け方、本体清掃など
【後期】 41～48回目	いろいろなキーボードスタンド アウトプットとキーボードアンプ
【後期】 49～56回目	サステインペダルとボリュームペダル キーボード転換においてのTips
【後期】 57～66回目	音声の伝達、マイク、ミキサー、アンプの仕組みとその関係 ドラムセット仕込み
【後期】 67～74回目	バミリ（マーキング）について バンドごとに色分けして区別する
【後期】 75～84回目	ドラムの転換
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ローディー実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習	必修					
			年次	1 年次						
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	9回 (36単位時間)	年間単位数	2 単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。									
授業概要										
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。										
到達目標										
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。										

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布